

文科省講堂で「トビタテ！留学JAPAN」壮行会！！

◆今号の記事は、国際教育担当の寺田先生（英語科）が書いてくれました。

6月8日(土)、官民協働事業「**トビタテ！留学 JAPAN 高校生コース第5期生**」の選抜生徒の壮行会が、文部科学省内の講堂において**柴山昌彦文部科学大臣**ご臨席のもと、盛大に行われました。「トビタテ！留学 JAPAN」は、アカデミック分野・プロフェッショナル分野・スポーツおよび芸術分野・国際ボランティア分野の各分野において、「**留学を通して日本の未来に貢献したい！将来的にグローバルに活躍したい！**」という生徒が自分の熱意を17ページ及び「**留学計画書**」にまとめ、一次選考に臨みます。一次選考に通ると、文科省の方々を前にその熱意を**プレゼンテーション**します。そうしたハードルを潜り抜けた「留学への熱い思い」を抱いた選抜者が壮行会に全国から集いました。

今回**初めて並木中等から2名の合格者**が出ました。二人とも5年次生で、難関の**国際ボランティア枠**での合格です。

一人は**門井希樹さん**で、将来は動物にかかわる仕事を希望しています。動物愛護の先進国である**ガーナ共和国**、特に狂犬病ワクチンの推進活動について学んでくることになりました。もう一人は**高橋真也くん**で、将来の夢は小児科医。**南アフリカ共和国**のチャイルドケアを現地で学び、将来の進路に役立てたいという希望を持っています。

今回の壮行会では4分野の代表者が各一人ずつ選ばれ、文部科学大臣の前で留学活動における宣誓を行いました。なんと**国際ボランティア枠での宣誓は本校の高橋くん！！**この留学にかける熱意はもちろん、トビタテプロジェクトの協賛企業や文科省の皆様、学校関係者そして留学を見守る家族に深い感謝の念を含めて素晴らしい宣誓をしました。

「南アフリカ・ガーナに留学？」と皆さんは驚いたかもしれませんが、午後のワークショップでは、まさに**アクティブ・ラーニングのオンパレード**。各自の夢をギャラリーウォーク・付箋を使った活動・分野別ワークショップに方面別ワークショップ・・・。

（一社）グローバル教育推進プロジェクト（Gift）の上手な**ファシリテーション**のもとで活発な活動が行われていました。アフリカ大陸の各国はもちろん、北欧・中南米などなど世界中に日本の高校生たちがこんなにも多く留学するのかと、引率した教員の私も驚きました。今の子どもたちは「**世界が近い！**」。そして、このように返還不要の奨学金を得て、**自分の夢を叶えるチャンス**があるということがとてもうらやましく、また限りなくまぶしく見えました。

在校生のみなさんも、高橋くん、門井さんに続いて、**世界へトビタテ！！**

